

第62回魚津市社会福祉大会

日時 平成25年7月27日(土)

開会 午後1時30分

閉会 午後4時30分

会場 新川文化ホール(小ホール)

主催 社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

第62回 魚津市社会福祉大会

<日 程>

日 時 平成25年7月27日(土) (開会：午後1時30分 閉会：午後4時30分)
会 場 新川文化ホール (小ホール)

- 1 開会のことば 魚津市社会福祉協議会 副会長 奥 田 正 明

- 2 式 典
 - (1) 国歌斉唱
 - (2) 黙 禱
 - (3) 大会長挨拶 魚津市社会福祉協議会 会長 本 元 義 明
 - (4) 祝 辞 魚 津 市 長 澤 崎 義 敬
魚津市議会 議長 梅 原 健 治
 - (5) 祝電披露
 - (6) 表彰状及び感謝状贈呈
 - (7) 謝 辞 受 賞 者 代 表 濱 元 勲

- 3 議 事
 - (1) 大会宣言 加積地区民生委員児童委員協議会会長 野 村 松 夫
 - (2) 大会決議 本江地区社会福祉協議会会長 三 谷 敏 博

- 4 アトラクション 活動紹介 (おたっしゃ介護予防教室)

- 5 記念講演 ~音楽は魔法だ!~
あなたに会えてよかった
講師：う〜み 氏 (シンガーソングライター)

- 6 閉会のことば 魚津市社会福祉協議会 副会長 松 野 昌 子

受賞者名簿

魚津市社会福祉協議会会長表彰受賞者

個人19名・2団体

<個人の部>

| No | 氏名 | 住所 | 功績の概要 |
|----|-----------|---------|--|
| 1 | 濱元 勲 | 魚津市新角川 | 永年にわたり、大町地区社協の会長として、活動基盤の構築や他団体との連携に尽力され、大町地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 2 | (故) 浅井 清吉 | 魚津市上野 | 永年にわたり、上中島地区社協の役員として、活動基盤の構築や他団体との連携に尽力され、上中島地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 3 | 田中 源三 | 魚津市仏田 | 永年にわたり、道下地区社協の役員として、活動基盤の構築や他団体との連携に尽力され、道下地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 4 | 吉崎 むつ子 | 魚津市上村木 | 永年にわたり、加積地区民生委員児童委員として、地域住民の相談や援助活動を行い、社会福祉の推進と向上に貢献された。 |
| 5 | 黒澤 志保 | 滑川市北野 | 永年にわたり、保育士として、保育の専門知識や優れた技術を有し、後輩の模範となる等、児童福祉の発展に貢献された。また、知識や経験を活かし、保護者の子育てを支援し、信頼を得ている。 |
| 6 | 四十万 真由美 | 滑川市横道 | 永年にわたり、保育士として、保育の専門知識や優れた技術を有し、後輩の模範となる等、児童福祉の発展に貢献された。また、知識や経験を活かし、保護者の子育てを支援し、信頼を得ている。 |
| 7 | 小森 恵 | 黒部市宇奈月町 | 永年にわたり、保育士として、保育の専門知識や優れた技術を有し、後輩の模範となる等、児童福祉の発展に貢献された。また、知識や経験を活かし、保護者の子育てを支援し、信頼を得ている。 |
| 8 | 西尾 小夜 | 魚津市大海寺野 | 永年にわたり、上野方地区の福祉活動やボランティア活動に尽力された。 |
| 9 | 橋本 眞理子 | 魚津市新角川 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、大町地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 10 | 木内 美和子 | 魚津市中央通り | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、村木地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 11 | 金谷 辰美 | 魚津市住吉 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、下中島地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 12 | 吉本 陽子 | 魚津市上口 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、下中島地区の地域福祉の推進に貢献された。 |

| No | 氏名 | 住所 | 功績の概要 |
|----|---------|--------|---|
| 13 | 中田 英子 | 魚津市鹿熊 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、松倉地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 14 | 宮ヶ丁 八三郎 | 魚津市大菅沼 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、片貝地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 15 | 坂口 百合子 | 魚津市東城 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、片貝地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 16 | 中島 峰一 | 魚津市相木 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、加積地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 17 | 竹内 敏子 | 魚津市吉島 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、加積地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 18 | 大原 一雄 | 魚津市北鬼江 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、道下地区の地域福祉の推進に貢献された。 |
| 19 | 森 治美 | 魚津市東町 | 永年にわたり、福祉推進員として、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等の見守り活動を続けられ、経田地区の地域福祉の推進に貢献された。 |

(順不同・敬称略)

<団体の部>

| No | 団体名 | 功績の概要 |
|----|------------|--|
| 1 | 竹の会 | 永年にわたり、加積地区の社会福祉や文化振興事業において、積極的にボランティア活動を行い、地域福祉の推進に尽力された。 |
| 2 | 村木地区女性セミナー | 永年にわたり、村木地区の公民館・地区社協行事において、積極的にボランティア活動を行い、地域福祉の推進に尽力された。 |

(順不同・敬称略)

魚津市社会福祉協議会会長感謝状受賞者

1. 魚津善意銀行事業 10万円以上寄附者〈個人32名(うち匿名1名)・3団体〉

(平成24年7月1日～平成25年5月31日)

| No. | 氏名・団体名 | 住 所 |
|-----|-------------|-----------|
| 1 | (故) 雛 形 一 雄 | 魚津市金山谷 |
| 2 | (故) 貫 名 一 枝 | 魚津市新宿 |
| 3 | (故) 吉 野 俊 男 | 魚津市友道 |
| 4 | (故) 吉 野 榮喜子 | 魚津市友道 |
| 5 | (故) 小 西 文 | 魚津市鉢 |
| 6 | (故) 橋 本 浩八郎 | 魚津市高島 |
| 7 | (故) 吉 野 和 子 | 魚津市大光寺 |
| 8 | (故) 有 城 な つ | 魚津市本町一丁目 |
| 9 | (故) 林 政 雄 | 魚津市大海寺野 |
| 10 | (故) 野 田 庄 治 | 魚津市慶野 |
| 11 | (故) 松 原 富 子 | 魚津市三ヶ |
| 12 | (故) 小 前 勇 | 魚津市宮津 |
| 13 | (故) 吉 野 健 一 | 魚津市大光寺 |
| 14 | (故) 木 下 ふ ぢ | 魚津市鹿熊 |
| 15 | (故) 八倉巻 弘 | 魚津市三ヶ |
| 16 | (故) 赤 坂 親 征 | 魚津市吉野 |
| 17 | (故) 折 川 忠 夫 | 魚津市慶野 |
| 18 | (故) 石 塚 幸 信 | 魚津市新金屋一丁目 |
| 19 | (故) 関 口 豊 示 | 魚津市天神野新 |
| 20 | (故) 谷 口 よしい | 魚津市上村木一丁目 |
| 21 | (故) 住 田 一 枝 | 魚津市本町二丁目 |

| No. | 氏名・団体名 | 住 所 |
|-----|-------------------|-----------|
| 22 | (故) 海 原 佐 苗 | 魚津市諏訪町 |
| 23 | (故) 中 山 敦 子 | 魚津市住吉 |
| 24 | (故) 石 崎 き み | 魚津市上口二丁目 |
| 25 | (故) 浅 井 清 吉 | 魚津市上野 |
| 26 | (故) 加 藤 武 士 | 魚津市緑町 |
| 27 | (故) 道 音 トシエ | 魚津市鹿熊 |
| 28 | (故) 山 本 菊 代 | 魚津市三ヶ |
| 29 | (故) 谷 清 治 | 魚津市仏田 |
| 30 | (故) 三 由 義 弘 | 魚津市新金屋一丁目 |
| 31 | (故) 松 原 政 義 | 魚津市三ヶ |
| 32 | 北陸労働金庫魚津支店地域推進委員会 | 魚津市上村木二丁目 |
| 33 | 日本大相撲魚津場所実行委員会 | 魚津市釈迦堂一丁目 |
| 34 | ユニー株式会社 アピタ魚津店 | 魚津市住吉 |

(順不同・敬称略)

大 会 宣 言
大 会 決 議

大会宣言

近年、わが国では、少子・高齢化や核家族化の進展、個人の価値観の多様化、深刻な経済不況、さらには、虐待や自殺などの新しい社会問題の発生により、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

それに伴い、地域社会においては、住民同士のつながりが希薄化し、地域で抱える福祉課題が複雑かつ深刻化しています。

このような中で、私たちが住み慣れた地域で共に安心して暮らしていくためには、地域住民同士による助け合い・支えあいと公的な福祉サービスが一体となって展開される必要があります。

昨年度策定されました「第2次魚津市地域福祉計画・第3次魚津市地域福祉活動計画」に基づき、魚津市と魚津社会福祉協議会は、協働して諸施策に取り組んでいるところですが、地域住民一人ひとりが地域において、より質の高い暮らしが確保され、この魚津市に住んでよかったと思える地域社会の構築に努めていかなければなりません。

私たちはこれからも、様々な地域の福祉課題に対応するため、地域住民をはじめNPOや関係団体、企業、社会福祉協議会、行政などと連携・協力し、知恵と工夫を凝らした活動を展開するとともに、「自助・共助・公助」によるバランスの取れた地域福祉の推進に努めてまいります。

本日ここに第61回魚津市社会福祉大会を開催するにあたり、私たち福祉関係者は、地域住民の皆様方が生きがいを持って、健康でいきいきと暮らせる地域福祉を推進することを決意し、ここに宣言いたします。

平成25年7月27日

第62回魚津市社会福祉大会

大会決議

本日、第62回となる本大会において、私たち住民一人ひとりが、「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉社会」の実現を目指し、決意を新たに、次の事項を決議いたします。

- 一 私たちは、共に支えあう地域づくりを目指し、地域住民、ボランティアやNPOなどとの活動の連携と協働を積極的に推進します。
- 一 私たちは、日頃から防災意識を高め、災害時に速やかに対応ができるよう、地域ぐるみのネットワークづくりと災害時要援護者支援体制の整備を進めます。
- 一 私たちは、子どもを安心して産み健やかに育てることができるよう、子育てにやさしい環境づくりを推進します。
- 一 私たちは、高齢者の生きがいと健康づくりを支援し、元気に暮らせるまちづくりを推進します。
- 一 私たちは、障がい者が地域で自立した生活ができるよう支援し、地域の一員として安心して社会参加できるまちづくりを推進します。
- 一 私たちは、共に支えあう地域づくりを目指し、福祉活動に積極的に参加できるよう、福祉関係諸団体の活動及び交流の拠点となる施設の早期建設の実現に努めます。
- 一 私たちは、住民主体による地域福祉活動を推進するため、社会福祉協議会をはじめ、福祉関係諸団体の人材育成や福祉専門職の資質向上に努めます。

平成25年7月27日

第62回魚津市社会福祉大会



第62回魚津市社会福祉大会

記 念 講 演

【テーマ】

～音楽は魔法だ！～
あなたに会えてよかった

【講師】

う～み

(シンガーソングライター)

◆1977年7月、函館生まれ。

幼少の頃から歌手を夢んでいたが、極度の絶対音感のために周囲から変わり者の目で見られ始め、初めて自分は人と違うことに気づく。19歳のバースデイ。事故で頸椎損傷。全身に障害を持つ身となる。死にたい・・・そればかりの日々が続いたある日、友人の誘いで音楽部を見学。今思えば、この出来事が今日のスタートだった。

現在は、作曲活動を行いながら、被災地支援活動、人権コンサートなど全国で展開中。



2013年
7 / 27
(土)
PM 1:30～

■会場

新川文化ホール
(小ホール)

■内容

式典

議事

アトラクション

記念講演



■主催／社会福祉法人魚津市社会福祉協議会

■後援／魚津市、魚津市内各地区社会福祉協議会、魚津市ボランティア連絡協議会、魚津市民生委員児童委員協議会

■問合せ先／社会福祉法人魚津市社会福祉協議会

〒937-0801 魚津市新金屋二丁目13番26号

TEL／0765-22-8388